

FLC シリーズ 電圧増幅器

安全なご使用についての注意

1. ショートの注意

出力をグラウンドにショートしたり、入力と出力をショートしたりしない様ご注意ください。ショートした場合は、電圧増幅器内の回路を損傷する可能性があります。

2. 最大入力電圧

最大入力電圧は各モデルのマニュアルに記載されています。この範囲を越えた条件でご使用になりますと、電圧増幅器内の回路を損傷する可能性があります。

3. 最大負荷容量

最大負荷容量は、各モデルのマニュアルに記載されています（サンプルへのケーブル容量も含みます）。負荷容量は、ケーブルを含めて最大負荷容量以下でご使用下さい。この条件以上で使用した場合、オーバーシュートが大きくなり発振することがあります。また、電圧増幅器に接続した回路やサンプルを損傷することがあります。

出力波形は、オシロスコープ等で確認して下さい。尚、オシロスコープのプロブは、入力容量の小さいもので、かつ電圧比 10:1 以上のものを使用する様にして下さい。

※ BNC ケーブルの容量は、約 100pF/m です。

4. 最小負荷抵抗

最小負荷抵抗は 1k Ω です。負荷抵抗は 1k Ω 以上でご使用下さい。この条件以下で使用すると、電圧増幅器内の回路を損傷することがあります。

5. 負荷の種類

本電圧増幅器で使用できる負荷は、抵抗 // 容量性負荷です。コイル等の誘導性負荷は、接続しない様に注意して下さい。

6. 最大出力時での最大周波数

最大周波数以上で使用すると、電圧増幅器内の回路を損傷することがあります。

7. 出力 ON/OFF スイッチはありません

本電圧増幅器には、出力の ON/OFF スイッチはありません。入力がなくても出力したまま故障する可能性があります。

出力に接続したサンプルを交換する際には、入力がなくても安全のため必ずフロントパネルにある**電源スイッチを OFF** にして下さい。または、出力端子とサンプル間にスイッチを入れるなどして電圧増幅器から切り離して下さい。

入力・出力端子にケーブルを接続する場合には、必ずフロントパネルにある**電源スイッチを OFF にしてから**接続して下さい。



株式会社 東陽テクニカ 理化学計測部 〒103-8284 東京都中央区八重洲 1-1-6

TEL (03)3279-0771 FAX (03)3246-0645 <http://www.toyo.co.jp/amp> E-mail: keisoku@toyo.co.jp

技術センター 〒103-8284 東京都中央区八重洲 1-1-6 TEL (03)3279-0771 FAX (03)3246-0645
大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-6-1(新大阪ブリックビル) TEL (06)6399-9771 FAX (06)6399-9781
名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-3-1(名古屋広小路ビルヂング) TEL (052)253-6271 FAX (052)253-6448
宇都宮営業所 〒321-0953 宇都宮市東宿郷 2-4-3(宇都宮大塚ビル) TEL (028)678-9117 FAX (028)638-5380